大空間防災システム

放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備

ノーミの火災感知・消火システムが
大空間を守ります

ノーミの火災感知・消火システムが

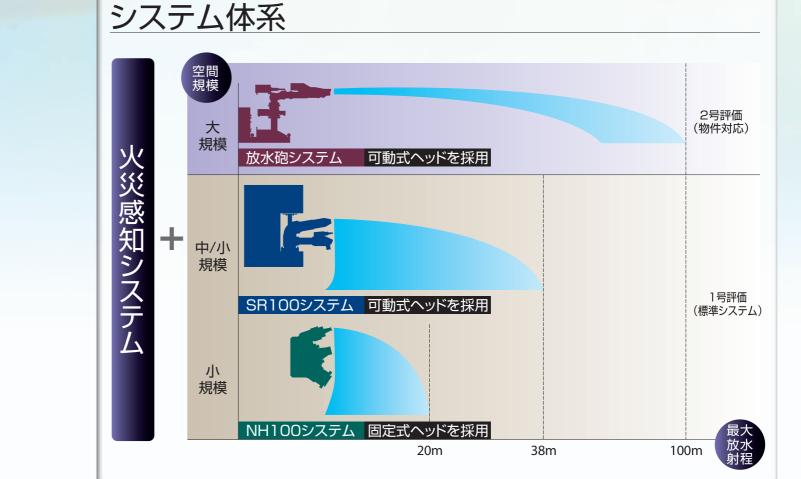
大空間を守ります

スタジアムや体育館、アトリウムなど、
空間の規模に応じた防災システムをご提案します。

NH100システム

消防法改正（平成8年2月16日施行）により、
スプリンクラー設備が必要な防火対象物（または部分）のうち

- 天井高さが10mを超える部分
- 物販店舗・地下街、および指定可燃物を貯蔵または取り扱う部分において天井高さが6mを超える部分

に放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備の設置が必要になりました。

SR100システム

最先端技術を搭載した高機能・高信頼性の自動放水システム

SR100システム

1号評価取得※　平成11年5月28日　評価番号:S028

アトリウムから体育館、中規模展示場などの中規模空間に最適

特長

1 火災感知から放水までを自動化
自動火災報知設備の火災信号で起動、SRノズルの感知部にて火源を探査・確定後、放水部を火源方向に自動指向し放水します。

2 高信頼性の火源検出
自動火災報知設備の感知器およびSRノズルの感知部（赤外線リニアセンサ・炎検知器）による複数の感知部にて火源を捉えます。

3 局所放水による、小水量を実現
可動式ヘッドによる局所放水のため、水源水量を低減、同時に設備全体のコスト低減がはかれます。

4 建築空間の美観に配慮した格納式を採用
SRノズルの機構部はパネルで覆い格納します。化粧パネルを周壁の色や材質に合わせることで、建築物に調和し美観を守ります。

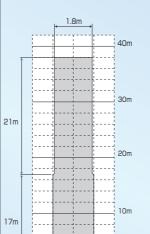
5 機器劣化を最小限に抑制
常時可動している部分がなく、機器の劣化・磨耗を最低限に抑制することにより、ライフサイクルコストの低減がはかれます。

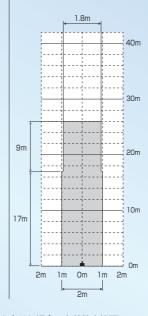
SRノズル

中央操作盤

有効放水範囲

SRノズル:MNS081
ミドルレンジ用

取付高さ：5.5m～16m
標準放水圧力：0.49MPa
標準放水量：900L/min
最大放水射程：38m
最大防護半径：37m
有効放水幅：1.8～2.0m

SRノズル:MNS082
ショートレンジ用

取付高さ：4～10m
標準放水圧力：0.49MPa
標準放水量：700L/min
最大放水射程：26m
最大防護半径：25m
有効放水幅：1.8～2.0m

● 壁面から90°に放水ノズルを向けた場合の有効放水範囲
注）防護半径はSRノズル取付高さにより異なります。

設置例

設置例

消火システム連動感知器

赤外線式スポット型炎感知器
炎に特有のCO₂共鳴放射＋ちらつきを感知

赤外線式スポット型炎感知器は、物が燃焼する時に発する、炎からの放射エネルギー（CO_2共鳴放射）をダイレクトに受けて火災感知を行うことで、着炎燃焼火災に対して時間の遅れなく、火災と判断します。1台ごとに監視エリアが設定されているため、火災火源エリアの限定ができます。

光電式スポット型煙感知器
警戒エリアの煙を検出し、火災を感知

光電式スポット型煙感知器は、火災時に発生する煙が感知器内にはいり、煙の濃度が規定のレベルを超えると、火災と判断します。

光電式分離型煙感知器
ライン監視、エリアごとに煙を検出し、火災を感知

光電式分離型煙感知器は、光を発する送光部と光を受ける受光部を5～100mの距離に対向配置しこの光路上を煙が遮ることにより、受光量が変化し、火災と判断します。

多くの建物で採用されている放水システム

NH100システム

1号評価取得※　平成9年6月3日　評価番号:S001

小規模の空間からエントランス、アトリウムまで多種多様の空間に適合

特長

1 火災エリアへの区画放水
固定式ヘッド数個を1区画として火災エリアへの区画放水を行います。

2 適切な火災検出・火災断定
2種類の感知器（自動火災報知設備と本消火システム専用）の作動により、火災断定を行います。

3 空間の規模や形状に応じて適切な放水ヘッドを選択可能
側壁設置型5種類、天井設置型4種類をラインアップしています。

固定式ヘッド（側壁設置型）

設置例

散水制御盤

● 各ヘッドの詳細、放水パターンは、「放水型ヘッド等スプリンクラー設備の機器」を参照願います。

※1号評価：一定の設置用件を満たす高天井部分に設置される放水型ヘッド等を用いるスプリンクラー設備

照準カメラと連動した放水システム

放水砲システム

ドーム型スタジアムなどの大規模空間用のシステム

特長

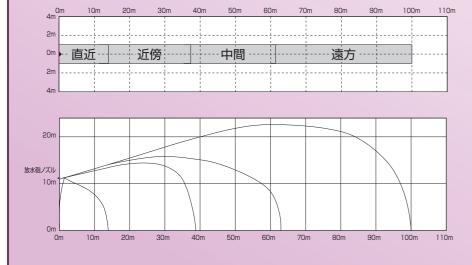
1 大規模空間の火災を検出
放水砲システム連動用感知部により、火災発生エリアまたは火源を特定します。

2 自動制御により的確に放水
特定した火源へ放水砲を旋回指向し、放水を行います。

3 最大放水距離100mの長射程を実現
放水パターンを火源までの距離に応じて4パターン（直近・近傍・中間・遠方）に切替、最大放水射程100mの長射程で大規模空間を防護します。

4 照準カメラによる現地確認
照準カメラが火災発生エリアに自動旋回し、現地の火災状況を自動で画面に映し出します。

中央操作盤

有効放水範囲（放水砲150Aの場合の一例）

放水砲　150A

放水例

放水砲システム連動用感知部

赤外線3波長式炎検知器
放水砲システムの警戒エリアの火災を検知します。

放水連動用感知部（火源探査）
赤外線3波長式炎検知器の火災信号により当該感知部が起動し、火源を特定します。

● 物件ごとに仕様が異なりますので、当社営業担当までお問い合わせください。

SR100システム

●システム系統概要図

防火対象物 / SRノズル / 自火報感知器 / S / SRノズル / 現地操作盤 / 遠隔操作弁 / 遠隔操作弁 / 消火ポンプ室 / P / 加圧送水装置 / ポンプ制御盤 / 火災受信機 / 中央操作盤 / 防災センターなど

凡　例　---- 電　路　―― 配　管

●システム動作フロー

自動モード

火災発生 → 自火報感知器発報 → 火災受信機 火災信号受信 → 中央操作盤 火災表示・警報 → SRノズル起動（火源探査開始） → 赤外線リニアセンサ 高温点探査、検出 → 炎検知器 高温点火災判断 → 放水部 火源方向に指向、停止 → 最適なSRノズル 自動選択 → 遠隔操作弁開放（→ 消火ポンプ起動） → 放水 → 消火

NH100システム

●システム系統概要図

防火対象物 / S / S / S 自火報感知器 / 消火システム専用感知器 / 固定式ヘッド / 遠隔操作弁 / 遠隔操作弁 / 現地操作盤 / 消火ポンプ室 / P / 加圧送水装置 / ポンプ制御盤 / 散水制御盤 / 火災受信機 / 防災センターなど

凡　例　---- 電　路　―― 配　管

●システム動作フロー

自動モード

火災発生
- 自火報感知器発報 → 火災受信機 火災信号受信
- 消火システム専用感知器発報 → 散水制御盤 火災信号受信

［放水条件成立］

散水制御盤 火災表示・警報（→ 遅延タイマー起動） → 防災要員による火災確認
- 非火災報など → タイマー停止 押釦操作 → 放水中止
- 小規模火災 → タイマー停止 押釦操作 → 消火器などによる初期消火
- 大規模火災 → 遠隔操作弁 開押釦操作

遅延タイマー起動 → 遅延タイマー設定時間終了

遠隔操作弁 開放（→ 消火ポンプ起動） → 放水 → 消火

■:人による操作の場合

⚠ 安全に関するご注意	●安全のため、ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みいただくか、当社にご相談のうえ、正しくご使用ください。 ●この製品は消防法に定められた「消火設備」の構成機器です。他の用途には使用しないでください。 ●この製品の取付け・調整・メンテナンスは、法によって定められた有資格者が必ず行ってください。

●この製品の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
●カタログと実際の製品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります。
●大切な防災システムのメンテナンスは多数の有資格者を有する当社CS部門にご用命ください。
●このカタログの記載内容は2006年1月現在のものです。

お問い合わせは…

本　社／〒102-8277　東京都千代田区九段南4-7-3　TEL.(03) 3265-0211　FAX.(03) 3264-4465

支　社／	北海道 (011) 746-6911	東　北 (022) 221-2695	新　潟 (025) 243-8121	丸の内 (03) 3213-1781
	茨　城 (029) 225-2600	千　葉 (043) 266-0303	北関東 (048) 642-0147	西関東 (0426) 27-4930
	横　浜 (045) 682-4700	長　野 (026) 227-5521	静　岡 (054) 247-3211	名古屋 (052) 915-2411
	金　沢 (076) 252-6211	大　阪 (06) 6330-8661	京　都 (075) 231-0128	神　戸 (078) 334-3581
	広　島 (082) 263-7346	岡　山 (086) 244-4222	九　州 (092) 712-1560	熊　本 (096) 360-1051
営業所／	旭　川 (0166) 35-7824	青　森 (017) 729-0532	盛　岡 (019) 645-0552	秋　田 (018) 862-5086
	郡　山 (024) 933-5580	福　島 (024) 528-4195	上　越 (0255) 26-1886	羽　田 (03) 3747-6800
	渋　谷 (03) 3461-1051	杉　並 (03) 3306-0451	城　東 (03) 3645-8300	城　北 (03) 5292-2137
	五反田 (03) 3779-9737	土　浦 (029) 822-3851	宇都宮 (028) 637-4317	群　馬 (027) 328-1567
	埼玉西 (049) 247-4640	川　崎 (044) 233-5773	沼　津 (055) 923-9669	浜　松 (053) 473-3422
	岐　阜 (058) 276-7761	三　重 (059) 226-9860	富　山 (076) 425-1496	福　井 (0776) 21-0056
	高　松 (087) 862-6012	徳　島 (088) 625-4325	松　山 (089) 974-2823	北九州 (093) 551-2588
	長　崎 (095) 845-0135	大　分 (097) 543-2778	宮　崎 (0985) 28-8792	鹿児島 (099) 253-8196
	沖　縄 (098) 862-4297			
工　場／	三　鷹 (0422) 44-5141	メヌマ (048) 588-1531		

URL http://www.nohmi.co.jp/

060120Ⓒ-P-2900 SZ01